

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島アルミニウム工業株式会社 千代田工場

(2) 事業所の所在地

広島県山県郡北広島町有間281-6

(3) 業種

アルミニウム・銅合金ダイカスト製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和4(2022)年度から令和12(2030)年度までの9年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、社会の責任ある一員として、企業活動を通じ、人の健康の維持と地球環境の保護に積極的に寄与する。

2. 環境方針

- ① リサイクル・省資源・省エネルギーに積極的に取り組み、環境保護に努める。
- ② 日々の活動において発生する廃棄物の最少化と汚染の予防に努める。
- ③ 環境関連の法律・規則・協定および利害関係者の要求事項等について責任を持って順守する。
- ④ 環境マネジメントシステムを構築し、環境パフォーマンス向上のために、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
- ⑤ この「環境方針」を周知すると共に、環境教育・広報活動を通じ、地球環境問題に関する意識向上に努める。
- ⑥ この「環境方針」を遂行する為に、環境目標を設定し、年度毎に見直す。
- ⑦ この「環境方針」を一般に開示し、地域社会との共存を図る。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和3（2021）年度
二酸化炭素	29,561	13,137

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF6 NF3 ）		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2				0
非エネルギー起源CO2				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

内製高

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 25 (2013) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和12 (2030) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	29,561	7,170.00	4.12	46.1	8,860	4,000.00	2.22
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	1.48	46.0	-	-	0.80
目標設定の考え方	社内方針(環境マネジメントプログラム)に基づき目標制定						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気の使用量を46.0%削減 (2013年度比)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコサーバの導入 ・ムダ運転撲滅活動 ・エアリーク撲滅活動 ・水銀灯照明をLED照明に更新
2	A重油使用量の低減	A重油使用量を46.0%削減 (2013年度比)	<ul style="list-style-type: none"> ・空気比適正化による不完全燃焼の低減 ・添加剤使用による効率改善 ・溶解炉、浸漬炉の放熱損失防止
3	LPG使用量の削減	LPG使用量を46.0%削減 (2013年度比)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃液量の低減 ・小型ボイラーを高効率タイプに更新
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

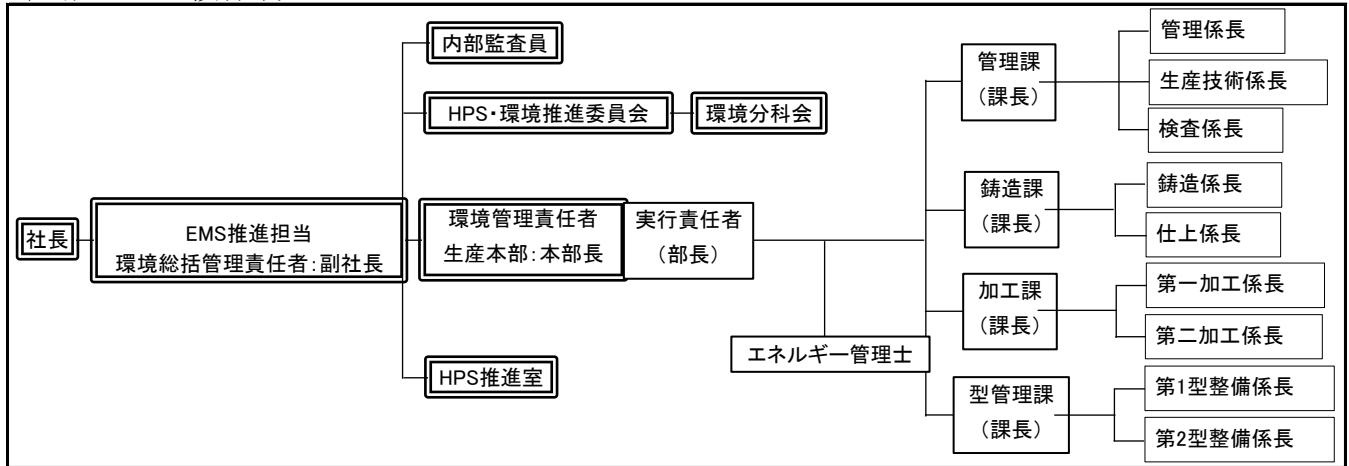
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	エネルギー区分毎の 低減活動	社内方針に基づき目標制定	各区分毎に1回/月の活動状況報告
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

1. 年間の環境マネジメントプログラムをエネルギー毎に作成し、毎月担当で実施状況を報告。実行責任者・推進リーダーよりフォロー、アドバイスを受ける
2. 社内内部環境監査で活動状況のフォローをしている。

(3) 計画書等の公表

事業所における閲覧とする。